

令和1・2年度 土木学会複合構造委員会 第1回幹事会議事録

日 時：令和元年5月21日（火）14:00～17:00

場 所：土木学会 D 会議室

出席者：下村委員長，松本副委員長，大久保幹事長，大山幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，桜庭幹事，塩畑幹事，平幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，牧幹事，溝江幹事，皆田幹事，工藤事務局

配付資料：

- 幹 1-0 令和1・2年度複合構造委員会第1回幹事会議事次第
- 幹 1-1 平成29・30年度複合構造委員会第12回幹事会議事録（案）
- 幹 1-2-1 令和1・2年度複合構造委員会幹事会名簿・業務分担
- 幹 1-2-2 令和1・2年度複合構造委員会組織図・委員交代，追加
- 幹 1-2-3 常設および第1種委員会の委員変更・追加
- 幹 1-2-4 令和1・2年度複合構造委員会小委員会作業分担(案)
- 幹 1-2-5 令和1・2年度複合構造委員会スケジュール(案)
- 幹 1-3 令和1・2年度複合構造委員会委員構成
- 幹 1-4-1 平成30年度委員会予算執行状況
- 幹 1-4-2 令和1年度委員会予算（案）
- 幹 1-5-1 平成31年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果
- 幹 1-5-2 平成31年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果・別紙資料
- 幹 1-6-1 平成30年度委員会活動度評価結果
- 幹 1-6-2 調査研究委員会の活動評価要領
- 幹 1-6-3 委員会の継続新設要領
- 幹 1-6-4 2018活動度評価結果報告文 29 複合構造
- 幹 1-7-1 土木学会全国大会/第74回念じ学術講演会/プログラム編成（案）
- 幹 1-7-2 会場案内（香川大学）
- 幹 1-8-1 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹 1-8-2 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（HP）
- 幹 1-9 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 幹 1-10-1 複合構造の継続教育 委員会議事録
- 幹 1-10-2 複合構造の継続教育 書籍英訳版
- 幹 1-11 出版関連報告
- 幹 1-12 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 1-13 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹 1-14 H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会
- 幹 1-15 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹 1-16 H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会
- 幹 1-17 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 幹 1-18 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹 1-19 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹 1-20 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹 1-21 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

- 幹 1-22 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 幹 1-23 令和1・2年度複合構造委員会第1回委員会議事次第(案)
- 幹 1-24 示方書連絡会議への協力依頼文

議事内容：

1. 委員長挨拶

新体制の幹事会第1回の開会にあたり、下村委員長より挨拶がなされた。

2. 自己紹介

各幹事の自己紹介がなされた。

3. 複合構造委員会第12回幹事会（平成29・30年度）議事録案確認（資料 幹 1-1）

仁平幹事より、資料に基づき説明があり了承された。H151 小委員会の期間延長については、H151 小委員会委員長が幹事会で説明する機会を設ける必要はなく、H101 小委員会で承認していれば、幹事会で報告するのみでよいことが確認された。

4. 令和1・2年度複合構造委員会幹事会体制ほか（資料 幹 1-2-1～幹 1-2-5）

大久保幹事長より、資料に基づき、幹事会体制について説明がなされた。年次講演会 WG の主査については、大山幹事をお願いすることになった。議事録担当については、当初案から、以下の変更を行うことにした。

- ・ 川端幹事：2 幹・3 委 → 2 幹
- ・ 斉藤（成）幹事：2 幹 → 3 委
- ・ 斉藤（隆）幹事：4 幹 → 1 委
- ・ 平幹事：1 委 → 4 幹

大久保幹事長より、複合構造委員会組織図および委員の変更・追加について、説明がなされた。

H005 土木学会論文集特集号編集小委員会の委員について確認を行うこととなった。

5. 令和1・2年度複合構造委員会委員構成（資料 幹 1-3）

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされた。

6. 平成30年度委員会決算と令和1年度委員会予算案（資料 幹 1-4-1, 幹 1-4-2）

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされた。H30 年度決算については、ほぼ予算どおり執行済みであることが報告された。また、R1 年度予算案は、H30 年度は昨年度並みの予定で、総額 120 万円時と 140 万円時の 2 案の配分案が示された。ただし、H006 複合構造の継続教育小委員会は、総額 120 万円時であっても、配分額を 5 万円にすることが確認された。

7. 平成31年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果（資料 幹 1-5-1, 幹 1-5-2）

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされ、コンクリート委員会から提出された「既設構造物の健全性評価法の高度化および体系化に関する研究」が採択されたことが報告された。研究代表者が、斉藤（成）幹事であり、複合構造委員会からも研究委員会に委員を出している。コンクリート委員会、複合構造委員会、鋼構造委員会の協力体制で、今後、研究活動に協力していくことが確認された。

8. 平成30年度委員会活動度評価結果（資料 幹 1-6-1～幹 1-6-4）

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされ、H30 年度の活動度は 1574 点で、ランク B と評価

され、2019年度の調査研究費予算配分額が766千円となったことが報告された。

9. 示方書連絡会議への協力について（資料 幹 1-24）

大久保幹事長より、資料に基づき、構造工学委員会が行っている示方書連絡会議に対して、今年度も継続的な協力を依頼されたことが報告され、複合構造委員会として継続的に協力していくことについて、了承された。会議への参加メンバーについては、中島先生（宇都宮大学）を中心に決めていただくことになった。

10. 令和1年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）（資料 幹 1-7-1, 幹 1-7-2）

大山幹事より、資料に基づき説明がなされ、複合構造物のセッションは、3セッションで、23編の投稿があったことが報告された。

11. 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（資料 幹 1-8-1, 幹 1-8-2）

仁平幹事より、資料に基づき説明がなされた。今年度は土木側が主催であり、特別講演は3件（＜土木＞道路橋の大規模更新・修繕工事について、池端様（NEXCO 中日本）※調整中、＜建築＞木材関係について、稲田達夫先生（元福岡大学教授、元三菱地所設計、現山佐木材顧問）、＜両方＞渋谷駅再開発プロジェクトの概要について、山田正人様（JR東日本））で調整しており、現場見学は11/15（金）PM（13:00～16:00のうち2時間程度）で東京湾臨海道路南北線を予定していることが報告された。

12. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料 幹 1-9）

牧幹事より、資料に基づき説明がなされ、今年度の特集号（Vol. 75 No. 5）では、計6編の論文が5月末に掲載されることが報告された。また、土木学会論文集拡大編集調整会議から特集号への依頼事項として、討議受付方法の検討や国際化があり、今後検討していく必要があることが報告された。

13. 複合構造の継続教育（資料 幹 1-10-1, 幹 1-10-2）

溝江幹事より、資料に基づき、第1回小委員会で議論された内容について、説明がなされた。

(1) 複合構造セミナーについて

複合構造セミナーの形式について議論しており、今後、参加者参加型のセミナーについても検討を行っていくことが報告された。2019年度のセミナーは、これまで通り、講演会形式で開催し、宇都宮大学の中島先生と北武コンサルタントの渡辺氏を講師として、12月13日（金）午後で開催予定である。

(2) e-ラーニングについて

学会として、積極的に支援しているスキームはJMOOC通常形式のみであり、講座設計や著作権許諾、受講サポートなど、委員会負担が多くなり、現状では困難である。複合構造委員会としては、まず、学会のCPDSの対象にならないかもしれないが、パワーポイントで教材を作成し、参加者参加型の複合構造セミナーの資料とし、今後、学会でe-ラーニング形式が展開されるようになれば、すぐにe-ラーニング教材を用意できるよう準備しておく方針で活動していくことが報告された。

(3) 書籍英訳化について

中村顧問のご尽力により、「基礎からわかる複合構造」の英訳版が完成し、委員会ウェブページから無料でダウンロードできることが報告された。また、ダウンロードの際には、誰がダウンロードしているのかの情報が記入できるよう、斉藤（成）幹事に工夫いただいたことが報告された。

14. 出版関係報告（資料 幹 1-11）

平幹事より、資料に基づき説明がなされ、複合構造レポートの8, 9, 10がまだ原価回収部数に達し

ていないことが報告された。

15. 小委員会報告審議事項（資料 幹 1-12～幹 1-22）

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

齊藤（成）幹事より、資料に基づき説明がなされ、示方書のフォーマットの変更を検討していることが報告された。また、H151 小委員会の活動期間の1年間の延長（2020年1月まで）を承認したことが報告された。

(2) H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会

溝江幹事より、資料に基づき説明がなされ、委員会活動を終了したことが報告された。現状では、報告書の完成に向けて作業中であり、修正作業を行いながら、転載許可手続きを行っている。今後は、親委員会での報告、土木学会論文集 A1 特集号の委員会報告の作成、2種委員会等での活動継続の検討を行っていく予定である。

(3) H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会

牧幹事より、資料に基づき説明がなされ、活動期間を1年間延長（2020年1月まで）することが報告された。

(4) H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会

平幹事より、資料に基づき説明がなされ、第1回を5月に開催し、第2回は7月に開催予定であることが報告された。

(5) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

溝江幹事より、資料に基づき説明がなされ、現在、報告書を取りまとめており、7月上旬に幹事会に通読を依頼し、8月末に脱稿の予定であることが報告された。講習会は、12月に東京、翌年5月に岩手で開催予定である。

(6) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

下村委員長より、資料に基づき説明がなされ、第2期はこれから活動予定であることが報告された。

(7) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

仁平幹事より、資料に基づき説明がなされ、ブラインド評価結果について今後議論していく予定であることが報告された。

(8) H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会

平幹事より、資料に基づき説明がなされ、活動期間を1年間延長し、現在、WGで報告書のとりまとめを行っていることが報告された。

(9) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされ、次回は7月ごろに小委員会を開催し、第1期のとりまとめについて検討していることが報告された。第2期は、2020年2月以降に活動を開始する予定である。

(10) H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされ、今後は5月に第5回、7月に第6回小委員会を行い、第4回委員会でも2つのWG（WG1：取替床版の接合法検討、WG2：主桁補強に関する設計施工法検討）を設置したことが報告された。

16. 第1回委員会議事次第（資料 幹 1-23）

大久保幹事長より、資料に基づき説明がなされた。終了小委員会の活動成果報告として、グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会の活動報告を15分程度で実施する予定である。資料の担当者については、大久保幹事長で再度確認し、資料作成を依頼することになった。

17. その他

複合構造委員会のウェブページにおける委員名簿（日本語・英語）が更新されていないので，大久保幹事長より斉藤（成）幹事にリストを送信する．

18. 閉会の挨拶

松本副委員長より，閉会の挨拶があった．

以上
(記録：北根)